

専門学校通信 絆



第 54 号

発行：日本福祉大学専門学校同窓会
事務局：名古屋市中区千代田 3-27-11
(日本福祉大学中央福祉専門学校内)
TEL052-339-0200 FAX052-339-0201
E-mail : dousou-chuo@ml.netnfu.ne.jp
https://www.netnfu.ne.jp/kizuna/

2026 年度定例総会のご案内

2026 年度の専門学校同窓会総会は、昨年度に引き続き校内での対面会議と Zoom 配信のハイブリッド開催といたします。委任の手続きも含めた出欠の確認には Google フォームを活用し、会員の皆様の意見・意思をできる限り幅広く集約いたします。また、会場ではお弁当をご用意して意見交換・交流のための懇親会場の場を設けることといたします。

【開催日時】2026 年 7 月 25 日 (土)

【受付開始】10:30～

【総 会】11:00～12:00

【懇 親 会】12:00～13:00

【会 場】日本福祉大学中央福祉専門学校 5 階教室

<https://forms.gle/gpYDtkSWYxvCdZDz7>

【参加方法】二次元コードから ①対面参加 ②Zoom 参加 ③ご都合がつかない方は、議案書をお読みのうえ委任あるいは所定の期間内に採決、何れかの参加方法を入力してください。

【申込・回答期限】①対面参加いただける方は『7/15』までにご連絡ください。懇親会のお弁当をご用意します。

②③の方は『7/23』までにご連絡ください。



2026 年度特別講演のご案内

総会当日は、言語聴覚士科同窓生有志による卒後特別講演会を開催します。講師は神経科学・小児発達のご専門で『子どもの脳を傷つける親たち』等の著書で知られる友田明美先生。臨床・研究の第一線で培われた豊富な知見をご講演いただきます。同窓生以外の方も参加可能です。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

【テ ー マ】子どもの脳を傷つけない子育て ～マルトリートメントによる脳への影響と回復へのアプローチ～

【講 師】友田明美先生 (福井大学 子どものこころの発達研究センター マルトリ予防学研究部門 特命教授)

【開催日時】2026 年 7 月 25 日 (土) 14:00～16:00 (来場者受付 13:15～)

【参加方法】来場 (日本福祉大学中央福祉専門学校 5 階) または Zoom オンライン

【参 加 費】同窓会会員：無料 非会員：1,000 円 (事前振込か当日現金)

【申込期限】2026 年 7 月 20 日

【申込方法】二次元コードまたはメール

E-mail: murase@n-fukushi.ac.jp

①氏名 (ふりがな)

②卒業年・卒業学科 (同窓生以外は『非会員』と記入)

③電話番号

④E メールアドレス

⑤参加方法 (『来場』または『オンライン』)

【そ の 他】Zoom 接続情報は開催 3 日前にメールにてお送りします



<https://forms.gle/yrSgvpXABBimjTJ8>

2026 年度定例総会 議案

（第 1 号議案）

2025 年度収支決算および事業報告

[収入の部]

細 目	2025 年度予算	決 算	事 業 内 容
前年度繰越金	2,145,341	2,145,341	
今年度収入	680,600	687,113	
会 費 収 入	430,000	430,000	1 万円×43 名
専門学校からの助成金	250,000	250,000	
言語卒後研修受講料	0	4,000	非会員 7 名
預 金 利 息	600	3,113	
合 計	2,825,941	2,832,454	

[支出の部]

細 目	2025 年度予算	決 算	事 業 内 容
会報発行事業	1,000,000	883,874	53 号発行
会報印刷費	370,000	271,304	印刷代
封入・発送費	630,000	612,570	郵送料・発送業務委託料
取 材 費	0	0	
総会開催費	65,000	42,000	総会・懇親会
懇親会等	45,000	42,000	出席者懇親会
総会参加交通費補助	20,000	0	
研究奨励事業	20,000	0	研修奨励論文
奨励金・旅費	20,000	0	
論文印刷費	0	0	
ホームページ運営事業	0	0	委託業務実施せず
同窓会員交流費	80,000	46,000	会員間交流支援
交流援助金	80,000	46,000	10 人以上の会合に 1 人あたり千円
同窓会員/準会員援助事業	400,000	237,918	事業・学習等支援
研修事業補助	200,000	83,000	特別講演会
教材・学習資料補助	120,000	92,100	国試対策教材
新入生・新卒者歓送迎	80,000	62,818	通学課程新入生歓迎会
卒業記念品等	0	0	在庫分にて対応
幹事会経費	140,000	157,000	幹事会開催経費
懇親会	85,000	107,000	
事務費	10,000	0	
交通費	45,000	50,000	
事務経費	65,000	7,810	諸経費
事務用品費	5,000	0	在庫分にて対応
封筒等印刷費	20,000	0	
通信費	30,000	0	
雑費・手数料	10,000	7,810	振込手数料
今年度支出合計	1,770,000	1,374,602	
次年度繰越金(収入計-支出計)	1,055,941	1,457,852	
合 計	2,825,941	2,832,454	

【簿外】

高浜同窓会合流繰越金	2,070,632	2,074,246	高浜同窓会口座の残金
------------	-----------	-----------	------------

（第 2 号議案）

2026 年度収支予算および事業計画（案）

[収入の部]

細 目	2026 年度予算	事 業 内 容
前年度繰越金	1,457,852	
今年度収入	733,000	
会 費 収 入	480,000	1 万円×48 名
専門学校からの助成金	250,000	
言語卒後研修受講料	0	
預 金 利 息	3,000	
合 計	2,190,852	

[支出の部]

細 目	2026 年度予算	事 業 内 容
会報発行事業	445,000	53 号発行
会報印刷費	20,000	作成費
封入・発送費	425,000	葉書代
取 材 費	0	
総会開催費	65,000	総会・懇親会
懇親会等	45,000	出席者懇親会
総会参加交通費補助	20,000	
研究奨励事業	40,000	研修奨励論文
奨励金・旅費	40,000	2024 年度・2025 年度採択者
論文印刷費	0	
ホームページ運営事業	0	委託業務実施せず
同窓会員交流費	80,000	会員間交流支援
交流援助金	80,000	10 人以上の会合に 1 人あたり千円
同窓会員/準会員援助事業	400,000	事業・学習等支援
研修事業補助	200,000	①特別講演会②施設見学
教材・学習資料補助	120,000	国家試験対策等
新入生・新卒者歓送迎	80,000	各学科の歓迎・卒業記念行事補助
卒業記念品等	0	在庫分にて対応
幹事会経費	140,000	幹事会 5 回開催予定
懇親会	85,000	幹事会懇親会開催を検討
事務費	10,000	幹事事務連絡用
交通費	45,000	
事務経費	25,000	諸経費
事務用品費	5,000	在庫分にて対応
封筒等印刷費	0	
通信費	10,000	
雑費・手数料	10,000	振込手数料
今年度支出合計	1,195,000	
次年度繰越金(収入計-支出計)	995,852	
合 計	2,190,852	

【簿外】

高浜同窓会合流繰越金	2,074,246	統合手続き中
------------	-----------	--------

2025～2026 年度事業・会計報告

【2025 年度事業・会計報告】

2025 年度の主な収入は、卒業生 43 名からの会費収入および専門学校からの援助金（25 万円）でした。会費収入の減少に伴い、会報発行以外の大きな事業支出は抑制したものの、収支差額は 687,489 円の支出超過となりました。

昨年度も会員・準会員援助事業に力を入れてまいりました。その成果は何より学生の皆さんの努力によるものですが、2025 年度も国家試験において高い合格率を維持することができました。同窓会による国家試験対策教材への支援が、その一助となっていたのであれば幸いです。会員の皆様のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

【2026 年度事業・予算提案】

2026 年度は、卒業生 48 名からの会費収入および専門学校からの援助金（25 万円）を見込んでおります。支出削減のため、会報は紙媒体での発行から WEB 掲載へ移行いたします。また、総会当日は、ささやかではありますが交流懇談会を開催する予定です。なお、同窓会では会員同士の交流促進を目的として、10 名以上の会合に対し、参加者 1 名につき 1,000 円を補助する交流会援助事業を実施しております。適切な範囲で、ぜひご活用ください。

研究論文の募集

研究奨励事業について引き続き下記の通り募集をいたします。ご応募は幹事会にて審査し、採用者は次年度の総会において発表いただきます。

個人の部	団体の部
① 奨励金 20,000 円	① 奨励金 20,000 円
② 対象 同窓会会員	② 対象 同窓会会員
③ 2,000 字以上（A4 用紙を基本とする）	③ 4,000 字以上（A4 用紙を基本とする）

【応募手続き】

- 希望者は事務局まで申込用紙をご提出ください
申込用紙は同窓会ホームページからダウンロードできます。
- 申込期限：2026 年 10 月 30 日（金）
- 同窓会幹事会で対象者を確認のうえ、本人に通知いたします。
- 研究論文は、2027 年 2 月末日までに提出してください。
- 研究論文は、2027 年度総会で「研究論文集」として配布し、発表いただきます。

* 詳細については、同窓会事務局まで、お問い合わせください。

Eメールで問い合わせていただいても結構です。 dousou-chuo@ml.netnfu.ne.jp

2027 年度出願要項配布中！～同窓生検定料免除制度が好評です～

資料請求先：日本福祉大学中央福祉専門学校 TEL 052(339)0200

<https://www.n-fukushi.ac.jp/chuo/> * ホームページから資料請求ができます。

- 2027 年度全学科の入学試験の出願要項を配布中です。言語聴覚士・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士をめざす職場の方や、お知り合いの方に、ぜひお勧めください。
- 同窓生ご本人の受験や同窓生が紹介する方が受験する場合、
入学検定料（通学課程 20,000 円、社会福祉士科通信課程 15,000 円、精神保健福祉士短期養成通信課程 10,000 円）免除の特典があります。詳細は資料をご請求ください。

2025 年度 同窓生交流事業報告

我が学友諸君へ ― たゆまぬ「努力と協力・協同」の心意気で立ち向かおう ―

四半世紀を超える歳月を経て参集されたクラスメイトの皆さん、また業務等の都合により出席がかなわなかった学友諸君に敬意を表します。そして、私たちに指導し、社会への限りない視座を教えてくださった先生方と母校に深く感謝いたします。

現在のところ、クラスメイト 30 数名の消息を確認できています。北は新潟、南は長崎まで、県外在住者は 20 名に及び、まさに全国各地の地域や職場で活躍している状況です。

福祉関連分野では、利用者を取り巻く環境や処遇の課題が依然として改善途上にあり、厳しい状況が続いています。しかし、我がクラスメイトは怯むことなく、それぞれの現場で奮闘を続けています。

今年の同窓会には 10 名が参加しましたが、来年度はさらに多くの仲間が集えるものと期待しています。全国の福祉現場や地域社会において、日本福祉大学中央福祉専門学校の存在意義をより一層高めながら、これからも果敢に歩み続けていく所存です。

社会福祉士科 5 期生（1994 年卒） 小林 教



33 年ぶりの再会 ～介護福祉士科第 2 期生 B クラス同窓会～

1992 年に中央福祉専門学校介護福祉士科第 2 期生として卒業してから 33 年。2025 年 10 月 5 日、念願の同窓会を開催しました。

「同窓会をやりたいね」

そんな一言をきっかけに数名の仲間が動き始め、10 月の開催を目標に 5 月から本格的な準備を進めました。

B クラスの卒業生は 54 名。33 年という長い年月が経過していることもあり、連絡を取ることは容易ではないだろうと覚悟していました。しかし、一人ひとりのつながりと行動力が大きな力となり、9 月末までに 46 名の仲間と連絡を取ることができました。



振り返れば、在学中から私たちのクラスは結束力の強いクラスでした。定期的な食事会をはじめ、岐阜県での夏キャンプ、花見、卒業旅行、卒業アルバム制作など、多くの企画を自ら立ち上げ、実行してきました。今回の同窓会でも、その頃と変わらない行動力と団結力を改めて実感しました。

当日は、県内だけでなく熊本県、神奈川県、長野県、岐阜県など遠方からも参加があり、総勢 21 名が集まりました。見た目こそ年齢を重ねましたが、話し始めれば当時の記憶が昨日のここのようによみがえり、笑いあり、涙ありのあつという間のひとときとなりました。

私たちが学生だった頃、日本ではバブル経済の崩壊、世界ではソビエト連邦の崩壊や湾岸戦争、ドイツ統一など、国内外ともに大きな変化の時代を迎えていました。また、福祉分野では 1989 年に策定された「ゴールドプラン（高齢者保健福祉推進 10 年戦略）」が進められ、高齢社会の到来を目前に控えた時代でもありました。そのような時代の中で学び、介護福祉士の草創期を支えてきた私たちが、今日の福祉を支える一助となれたことは、母校とともに誇りに思えることではないでしょうか。

私たちも早いもので 50 代半ばとなりました。時代は移り変わりましたが、中央福祉専門学校で共に学んだ思い出と仲間との絆は変わりません。

今回の再会を、同窓会への参加の有無にかかわらず、これからの新たなつながりの出発点として大切にしていきたいと思います。そして次回は、さらに多くの仲間が集う同窓会となることを願っています。

介護福祉士科第 2 期生 B クラス 村崎 正明

令和3年度・4年度 社会福祉士科夜間課程合同同窓会を開催して

令和3年度・4年度社会福祉士科夜間課程卒業生による合同同窓会を開催し、今年で2年目を迎えました。きっかけは、私が勤務する重度身体障害者施設に昨年度の実習生が来られたことでした。人との縁から交流が生まれ、「卒業後もつながりを大切にしたい」という思いが形となり、今回の開催につながりました。

2025年4月26日（土）、鶴舞駅近くの会場にて開催し、長岩校長、花井先生、市川先生をはじめ、令和3年度卒業生8名、令和4年度卒業生6名の計17名が参加しました。久しぶりの再会でしたが、在学中の思い出や現在の仕事の話に花が咲き、あっという間の4時間となりました。先生方からは学校の近況や社会福祉士を取り巻く現状についてお話を伺うことができ、参加者からは職場での悩みや将来への思いも語られました。社会福祉士として働く中で感じる喜びや葛藤を共有し、互いに励まし合える時間となりました。

社会福祉士科夜間課程には、さまざまな年齢や経歴を持つ学生が集います。私自身も定年退職後、還暦を迎えてから本校に入学しました。福祉の世界には課題も少なくありませんが、人や地域を支える仕事だからこそ得られるやりがいがあります。卒業後もこうして仲間や先生方と再会し、語り合えることは大きな財産です。年齢や卒業年度を超えて交流できることも、夜間課程ならではの魅力ではないでしょうか。

今後もこのつながりを大切にしながら、同窓会を継続していきたいと思います。来年もゴールデンウィーク前の開催を予定しておりますので、多くの同窓生の皆さまのご参加をお待ちしております。

社会福祉士科夜間課程 令和3年度卒業 庄司 元洋



専門学校の状況

精神保健福祉士短期養成通信課程1年目を終えて

皆さん、こんにちは。精神保健福祉士短期養成通信課程 学科長の花井文治です。

本課程は、2025年12月に待望の第1期生を送り出すことができました。

本課程は、「9か月間の通信課程・定員150名」のコースです。社会福祉士有資格者や基礎科目修得者を対象としており、入学者の多くは精神科医療や障害者福祉、行政機関、地域包括支援センターなどで、すでに社会福祉士として精神障害のある方々を支援している実務経験者です。初年度は132名が卒業されました。本校の社会福祉士科（夜間課程・通信課程）の卒業生も多く、母校をリカレント教育（学び直し）の場として活用していただけたことを大変嬉しく感じています。

入学後は、eラーニングシステム「nfu.jp」を活用した課題提出やオンデマンド授業の受講が中心でしたが、学生の皆さんは大変熱心に学習に取り組まれていました。また、6月と11月のスクーリングには、北海道から沖縄まで全国各地から学生が集まりました。演習での学び合いや交流会を通じて地域を超えたつながりが生まれ、仲間との励まし合いが学習継続の大きな支えとなりました。その結果、国家試験では合格率92.4%という素晴らしい成果を収めることができました。

卒業生からは、「交流会でできた仲間の支えがあったから修了できた」「オンデマンド動画を試験直前まで見返すことができて助かった」「スクーリングで出会った仲間の職場で働くことになった」といった嬉しい声が寄せられています。また、「eラーニング中心で通学負担が少なく、遠方からでも学びやすかった」という通信課程ならではの利点を実感された方も多くいらっしゃいました。

本課程は、専門知識や実践力を身につけるだけでなく、全国に広がる仲間とのネットワークを築く場でもあります。本校では年間を通じて対面・オンラインでの説明会を開催しております。さらなるステップアップに関心をお持ちの方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

日本福祉大学中央福祉専門学校
精神保健福祉士短期養成通信課程 学科長 花井文治

2026 年度学生数（2026 年 5 月 1 日現在）

（単位：人）

専門課程

学 科	入学定員	1 年生	2 年生	合 計
介護福祉士科	80	58	71	129
言語聴覚士科	40	24	26	50
合 計	120	82	97	179

別科

学 科	入学定員	1 年生	2 年生	合 計
社会福祉士科通信課程	300	118	124	242
精神保健福祉士短期養成通信課程	150	146	-	146
合 計	450	264	124	388

第 38 回社会福祉士国家試験結果（現役合格）

学 科	受験者数	合格者数	合格率（昨年度）
社会福祉士科通信課程	106	85	80.2%（85.6%）
全国	25,430	15,438	60.7%（56.3%）

第 38 回介護福祉士国家試験結果（現役合格）

学 科	受験者数	合格者数	合格率（昨年度）
介護福祉士科	27	25	92.5%（90.6%）
全国	78,469	54,987	70.1%（78.3%）

※日本人学生合格率 100%

第 28 回言語聴覚士国家試験結果（現役合格）

学 科	受験者数	合格者数	合格率（昨年度）
言語聴覚士科	21	16	76.1%（90.9%）
全国	2,187	1,453	66.4%（72.9%）

第 28 回精神保健福祉士国家試験結果（現役合格）

学 科	受験者数	合格者数	合格率
精神保健福祉士短期養成通信課程	132	122	92.4%
全国	7,107	5,558	78.2%

2026 年度 専任教員体制

校 長 長岩 嘉文			
介護福祉士科	社会福祉士科通信課程	言語聴覚士科	精神保健福祉士短期養成通信課程
学科長 森 由香子 専任教員 高木 直美 〃 板部美紀子 〃 彦坂 亮 〃 村松 優	学科長 長岩 嘉文	学科長 大岡 治恵 専任教員 井上ひとみ 〃 國友 晴洋 〃 村瀬 幸子	学科長 花井 文治